

就職活動体験イベントにおける学内業務の効率化を目的とした 帳票作成システムの試作

松本 雅利[†]高橋 将希[†]鷹野 孝典[†]鈴木 孝幸[†]八木 勲[†]宮崎 剛[†]稲葉 達也[†]納富 一宏[†]
[†] 神奈川工科大学 情報学部情報工学科

1. はじめに

著者らが在籍している神奈川工科大学において、学部 2, 3 年生を対象としたキャリア教育に関する就活体験イベントとして「会社訪問体験」[1]を実施している。会社訪問体験は、神奈川県情報サービス産業協会[2]に所属する 10 社程度の企業から、学生が自ら訪問したい企業を選択し、指定された日時に企業訪問を実施するものである。学生は企業訪問をするにあたり、大学の規定に従って、出張伺い書や出張旅費申請書等の帳票[3]を作成する必要がある。2015 年度では 9 月、11 月、2 月の 3 シーズンの実施が予定されており、既に実施した 9 月と 11 月においては、各回延べ 50 名程度の学生が参加した。各回の実施において、多くの帳票が発生するため、帳票作成、内容確認、提出にいたるまでの一連の処理を支援する仕組みが求められている。

特に、出張旅費申請書の作成においては、ほぼ全ての学生が初めて作成するため、記入例の説明をしても、単純な記載ミスから、企業までの最安値でない経路の金額を記載するなど、様々な記入ミスが見受けられる状況である。さらに、出張旅費申請書は押印が必要であるため、学生への記入ミスの通知から押印した書類の再提出までのやりとりも必要となり、これらの全作業を人が行うのは大変な労力となっている。このような背景に基づいて、本研究では、下記の機能を備えた帳票作成システムを試作する。本稿においては、主に機能 1 の設計と実装方法について説明する。

機能 1: Web ブラウザ上の入力フォームから必要項目を入力し、指定様式で印刷可能な出張旅費申請書 Excel ファイルを生成する機能

機能 2: 企業までの経路や運賃に関する入力誤りデータを検知する機能

機能 3: 入力誤り箇所を学生へ通知する機能

2. 提案システム

提案システムの概要図を図 1 に示す。本システムでは、まず学生は Web ブラウザ入力フォームより、学籍番号、氏名、所属等の基本項目に加えて、訪問先、出発場所から訪問企業までの経路、および電車やバス運賃といった交通費データを入力する。学生が入力した項目に基づいて、大学の規定する様式に

従った出張旅費申請書 Excel ファイルが作成される。作成された出張旅費申請書ファイルは、ダウンロードして印刷し、押印後に提出することができる。また、帳票データは学生ごとにデータベースに保存され、データ確認をする担当者は、Web ブラウザ上の帳票データ一覧画面より、各学生の入力データを閲覧・チェックすることができる。

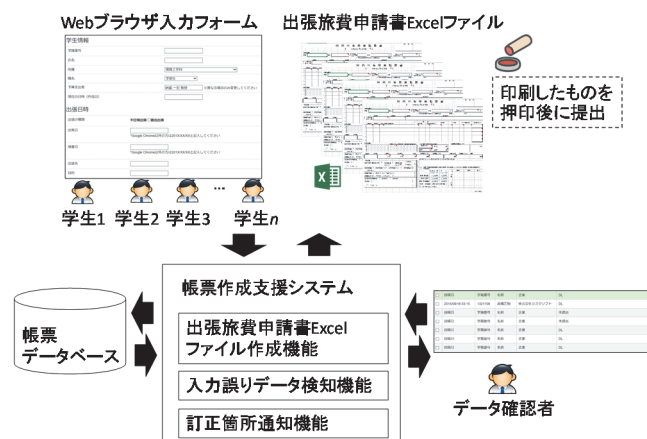


図1. 提案システムの概要図

3. まとめと今後の課題

本帳票作成システムは、Web ブラウザ入力フォームを学生へ提供することにより、学生の入力ミスを減少させ、入力誤りデータ検知機能および学生への通知機能を提供することにより、担当者の作業コストを低減させることを目指している。

今後の課題として、機能 2 の入力誤りデータ検知機能を実現するためのチェックアルゴリズムを考案するとともに、会社訪問体験において実運用することによって実証実験をしていくことを予定している。その際、(1)学生の入力ミス数の減少率、(2)入力ミスがあった場合の学生と担当者間のやりとり数の減少率、(3)システム・ユーザビリティの 3 点を中心とした評価を検討している。

参考文献

- [1] 宮崎 剛, 鷹野 孝典, 稲葉 達也, 納富 一宏, IT 企業を対象とした会社訪問体験の実施報告, IT を活用した教育シンポジウム 2014 講演論文集, Vol.9, pp.107-pp.110, 2015.
- [2] 神奈川県情報サービス産業協会, <https://www.kia.or.jp/>
- [3] 田中 俊雄, 伊藤 美紀, 福井真 裕美, 設計業務効率化のための帳票作成支援システム, 情報処理学会全国大会講演論文集 Vol.54, No.4, pp.341-pp.342, 1997.